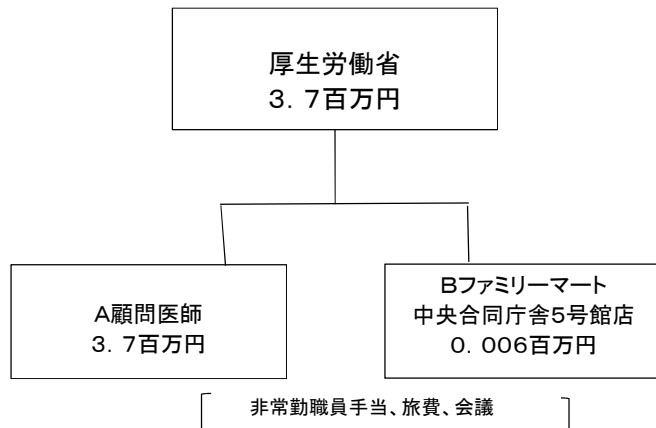


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	顧問医師等の雇上げに要する経費			担当部局庁	保険局		作成責任者	
事業開始年度	昭和59年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医療課医療指導監査室		鈴木 健彦	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	社会保障			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保険医療機関等の指導監査等に際し、医療技術の進歩が著しい中、診療内容の当・不当の判断等について、医学的に高度かつ専門的な判断を求められる事例に対し、医療技術参与(顧問医師団)により専門的見地から助言をうけ保険診療の適正化を図る。また、年1回顧問医師団会議を行うことで、指導監査等に関し共通認識を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	医療技術参与の旅費、会議における会議費の支出。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	4	3	3	3	4	
	執行額	3	3	4				
執行率(%)	75%	100%	133%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度
			成果実績	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績				
	<p>定量的な目標が設定できない理由及び定量的な成果目標</p> <p>指導・監査等業務は、その内容により、顧問医師が同行し実施することもあるが、その目的は保険医療機関等に対し、保険診療の内容及び診療報酬請求の妥当性等について確認し、必要に応じて指導等を行い、保険診療の質的向上及び適正化を図ることであり、定量的な指標はもとより、間接的な指標を設定することもできない。</p>			<p>医学的に高度かつ専門的な判断を求められる事例に対し、専門的見地から助言をお願いしている医療技術参与にご参集いただき、指導・監査に関し共通認識を持っていただくため、年1回、顧問医師団会議を開催することで、指導・監査等業務の質的向上を図る。平成24~26年度においては年1回開催しており、成果目標を達成している。</p>				
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度
	年1回、顧問医師団会議を開催することで、指導・監査等業務の質的向上を図る。	会議の実施率	実績	1	1	1	1	27年度
			目標値	1	1	1	1	1
			達成度	%	100%	100%	100%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	顧問医師団会議の開催に必要な額を支給する。			活動実績	回	1	1	1
				当初見込み	回	1	1	1
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	<p>単位当たりコスト=X/Y</p> <p>X=顧問医師団会議に要する費用</p> <p>Y=会議の開催年数(年1回)</p>			単位当たりコスト	百万円	1.1	1.1	1.1
				計算式	X/Y	X/Y	X/Y	X/Y
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	会議費	0	0					
	指導等派遣に係る経費	1	1					
	保険医療機関等への指導監査旅費	1	2					
	顧問医師招集旅費	1	1					
	計	3	4					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価		評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	保険診療の質向上及び適正化等が期待できることから、国民からの要請も高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	保険診療の質向上及び適正化等に資する事業であることから、地域による偏りが生じることは望ましくなく、全国で統一的去すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	保険診療の質向上及び適正化等に資する、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	必要最低限であり妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的のみの使途となっており、必要なものに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	必要最低限のコストで実施しており、コスト削減の工夫は行われている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込み通りとなっている。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	平成26年度における必要経費については、ほぼ例年通りの執行となっており、妥当な水準であった。			
	改善の方向性	引き続き妥当な水準の執行に努めるとともに、必要に応じて見直しを行うこととしている。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	270	平成23年度	241	平成24年度	207
平成25年度	240	平成26年度	252		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.顧問医師(個人A等)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委員等旅費、 非常勤職員手 当等	顧問医師の指導監査等に係る旅費・手当	3.7			
計		3.7	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	顧問医師(個人A等)	顧問医師の指導監査等に係る旅費・手当	3.7	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ファミリーマート中央合同庁舎5号館店	会議の開催に必要な経費	0	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					